

令和2年9月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書
(通告者15名)

順位	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者	備考
1	<p>1 雨水・排水対策の推進について</p> <p>2 名取駅周辺のにぎわいづくりにについて</p>	<p style="text-align: center;">10番 吉田 良</p> <p>(1) 令和元年台風第19号と同規模の降水があった場合、当時と比べて洪水被害をどの程度軽減できる見込みがあるのか伺う。</p> <p>(2) 水稻収穫後の稲わらが大雨によって流出することを防ぐための対策を講じるべき。</p> <p>(3) 台風第19号による洪水被害は、一部地域で既成市街地内水浸水ハザードマップの予想を超える規模となったが、その原因について分析されている内容を伺う。</p> <p>(4) 豪雨の際に水田に一時的に水をためることにより市街地の洪水被害を軽減する「田んぼダム」について、導入による効果や課題等を研究すべき。</p> <p>(1) コミュニティプラザの利用者のニーズについて、図書館との違いをどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) コミュニティプラザの1階と2階の機能を入れ替え、1階の事務室に飲み物を提供できるカフェ的機能を整備し、さらに周辺の屋外にテーブルやベンチを設置して利用者が交流できる空間をつくってはどうか。</p> <p>(3) 選挙公約の一つである「屋台村構想」の詳細を伺う。</p> <p>(4) 駅周辺で、民間事業者が屋台を営業できる空間づくりを検討してはどうか。</p> <p>(5) 第六次長期総合計画にある「魅力ある商店街の再生」を具体的にどう進めていく考えか伺う。</p> <p>(6) 商店街活性化のために、曜日や時刻を限定して県道仙台名取線の一部を歩行者天国とすることによる効果や課題を研究してはどうか。</p>	<p>市長</p>	
2	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p style="text-align: center;">11番 荒川 洋平</p> <p>(1) これまで新型コロナウイルス感染症対策や各種支援策を実施してきたが、今後も必要と考える。現在対応可能な財源はどの程度か。</p> <p>(2) 国は第2次補正予算に、新型コロナウイルス感染症対応に当たった医療従事者や介護施設職員らへの慰労金を盛り込み、さらに本市は独自に上乘せすることとした。同じように感染リスクを抱え、心身に負担がかかる中、児童分野の業務に従事する職員にも慰労金を支給すべき。</p> <p>(3) 町内会などの地域行事が新型コロナウイルス感染症により、軒並み中止になっている。国や県単位でイベント開催のガイドラインが示されているが、町内会などの小規模なイベント開催のガイドラインを本市独自で作成し、必要な物品・経費を補助し、新型コロナウイルス感染症に対応したコミュニティー活動ができるよう支援すべき。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 復興公営住宅について	(1)現在の入居率は。 (2)戸建ての復興公営住宅については、東日本大震災復興特別区域法で建設後5年で払下げすることが可能となっているが、本市の考え方を伺う。 (3)戸建ての入居者に対して払下げの意向を調査し、希望する人には早期に払下げの手続を実施すべき。	市長 市長 市長	
3	1 ごみの出し方や分別等について	5番 板橋 美保 (1)ごみの出し方や分別について、どのように周知しているか伺う。 (2)現在発行している「リサイクルとごみの出し方」と併せて、一枚でごみの出し方や分別が確認できる一覧表を作成・配布し集積所に掲示するなど、ごみの出し方や分別について周知方法を検討すべき。 (3)市内小売店で販売する有料レジ袋について本市指定のごみ袋も選択できるようにするなど、指定ごみ袋の利活用について市内小売店に協力を求めるべき。	市長 市長 市長	
4	1 新たな食料・農業・農村基本計画について 2 スポーツ施設の充実について	4番 千葉 栄幸 (1)中小・家族経営など多様な経営体の生産基盤強化を通じた農業経営の底上げや地域政策の総合化、行政のデジタルトランスフォーメーションの推進などが新たに盛り込まれた「新たな食料・農業・農村基本計画」をどう捉えているか伺う。 (2)日本型直接支払制度を活用していない地域がある市町村のうち、4割は地域に活用を働きかけていないとの農林水産省の調査結果がある。本市における日本型直接支払制度の活用状況と各制度の働きかけの状況について伺う。 (3)行政のデジタルトランスフォーメーションの推進を積極的に国・県に働きかけるとともに、計画推進に当たり職員体制の充実・育成に注力すべき。 (1)閑上グラウンドの利用状況について伺う。 (2)閑上グラウンドは、立地上、風の影響が強く、砂じんが飛散し利用者の目や鼻に入り苦しいとの声が多数ある。また、水はけが悪く雨天時はどろどろになるため、人工芝にすべき。 (3)閑上コミュニティ広場の利用状況について伺う。 (4)閑上コミュニティ広場について、幅広い利用ができるよう天然芝にすべき。	市長 市長 市長 教育長 市長 教育長 教育長 市長 教育長	
5	1 水害対策について	17番 郷内 良治 (1)本市の水害対策の現状について伺う。 (2)市、地権者、農協、土地改良区と連携しながら水田にフィールドゲートを設置し、大雨時に洪水被害を軽減する「田んぼダム」として水害対策を行ってはどうか。	市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
8	1 宮城県立がんセンター、東北労災病院及び仙台赤十字病院の連携・統合に係る総合病院の誘致について	2 番 熊谷 克彦 (1) 県立がんセンターと情報交換を行うための会議を早急に開催すべき。 (2) 県知事に名取市内への誘致に係る要望を早急に行うべき。 (3) 県知事に誘致する場所について具体的に提案すべき。 (4) 総合病院の誘致に係る土地取得等について財政的な面も支援すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
9	1 農業振興について	1 9 番 山田 龍太郎 (1) 農業の競争力を強化し、成長産業化を進めるため、地域内に分散、錯綜する農地を担い手へ集積・集約化する「農地中間管理事業」に引き続き取り組んでいくとしているが、JAとの連携が必要不可欠と考えるがどうか。 (2) 農業の担い手確保についても広く関係団体と連携すべき。	市 長 市 長	
	2 自然環境保全について	(1) 市内にある公園・緑地は東日本大震災の後に新しく整備された公園・スポーツ施設・市民墓地・緑道等今後ますます面積が増えていく。緑の維持管理は市民の協力・連携だけでは難しくなる。維持管理のための財源確保をしっかりと考えるべき。 (2) 閑上土手の松並（あんどん松）について、今年の4月18日に倒れた場所から東へ向かって並木が途切れている場所へ、次代を担う新しい松を補植すべき。	市 長 市 長 教育長	
	3 学校教育の充実について	(1) 令和2年度から令和3年度に施行される「新学習指導要領」に対応していかなければならない。これまでの学習指導要領とどのように違いがあるのか伺う。 (2) 児童・生徒・保護者も大きく戸惑いのないよう「新学習指導要領」に移行すべき。	教育長 教育長	
	4 中学生海外派遣事業について	(1) 中学生の海外派遣事業はこれまで25回実施している。体験した子供たちの地元への貢献はどう評価しているか。 (2) 第六次長期総合計画を踏まえ、派遣先を変えるなど、令和の時代に即した新しい海外派遣事業を考案すべき。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
10	<p>1 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営について</p> <p>2 市長の公約と市政運営について</p>	<p style="text-align: right;">1 番 菊地 昌夫</p> <p>(1) 本年4月に内閣府等からの「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」の通知を踏まえ、各避難所での受入れについて、どのような準備がなされたのか伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルを早急に作成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症に対応した避難訓練を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 「災害に強いまちへ」との公約の取組として、ハード面、ソフト面あわせて、具体的にこれをいつまで実施、達成するのか、目標について伺う。</p> <p>(2) 国土交通省から指導されている要配慮者利用施設における「避難確保計画」策定に係る支援について、積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 「災害に強いまちへ」との公約の取組として、防災士の資格取得者を増やすため、資格取得のための費用助成制度を創設すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 職員一人一人がその力量を思う存分に発揮しながら業務に臨める体制や仕組みをつくるべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
11	<p>1 仙台空港の運用時間の延長について</p> <p>2 学校施設の空調設備の整備について</p>	<p style="text-align: right;">1 6 番 小野寺 美穂</p> <p>(1) 第3回仙台空港4者会議の内容について伺う。</p> <p>(2) これまで実施された地元説明等において地域住民の理解が得られているという認識か。</p> <p>(3) コロナ禍の中において、地元対応はどのように進めるのか。</p> <p>(4) 地元の理解が得られなければ、運用時間の延長は実施すべきではない。</p> <p>(1) 特別教室への設置について検討はしているのか。</p> <p>(2) 学校に対して教室数を限って希望を聞き、特別教室の空調設備の整備に取り組むべき。</p> <p>(3) 県に対し、県立高校への空調設備の設置を全県的に早急に進めるよう求めるべき。</p>	<p>市 長</p>	
12	<p>1 新型コロナウイルス感染症への対応について</p>	<p style="text-align: right;">7 番 大久保 主計</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画等を明確に示すべき。</p>	<p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 女川原子力発電所再稼働について	(1)名取市地域防災計画に原子力災害対策を追加策定すべき。 (2)女川原子力発電所再稼働について広く市民の意見を聞き、本市としての考え方をまとめるべき。	市 長 市 長	
	3 SDGsにある「持続可能な消費と生産パターンの確保」について	(1)グリーン購入調達方針を策定し、組織的で積極的な取組を行い、持続可能な公共調達の慣行を促進すべき。	市 長	
1 3	1 本市における新型コロナウイルス感染症に起因する人権問題対策について	3 番 笹森 波 (1)新型コロナウイルス感染症に起因する人権問題についてどのように捉えているか。 (2)感染者等に対する差別や誹謗中傷を防止するため、広報なとりやポスターなどを活用し啓発すべき。 (3)教育現場において人権問題を取り入れ、子供たちが差別や偏見などを持たないよう取り組むべき。	市 長 教育長 市 長 教育長	
	2 新型コロナウイルス感染症における医療機関と行政の連携について	(1)市内の医療機関の経営状況等について現状をどう捉えているか。 (2)医療機関・保健所・市と連携を深め、今後の感染拡大に備えて発熱者に対する相談窓口の設置やPCR検査体制を整備すべき。	市 長 市 長	
1 4	1 生活困窮者自立支援事業について	1 2 番 大友 康信 (1)新型コロナウイルス感染症の影響により困窮された方々の相談が増えている。本市に寄せられた相談や対応の件数とその推移について伺う。 (2)コロナ対策として、生活困窮者支援策の追加や延長、または新たな取組の検討はされているか。 (3)路上生活者、ネットカフェ難民といわれる人数など把握している状況について伺う。 (4)厚生労働省は生活困窮者自立支援事業について7つの取組を示し周知している。本市はこのような対応ができる体制が整っているか伺う。 (5)現在は手続により市や社会福祉協議会など相談窓口が複数あるが、迅速な対応をするため、相談窓口を一つにしてワンストップ対応ができるようにすべき。 (6)生活困窮者自立支援事業の推進に当たり、事業に関する情報交換や対象者の一時生活支援先の確保等のため、他の自治体との連携を進めるとともに、専門家の配置などの相談体制の強化を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
15	<p>1 中高年のひきこもり対策について</p> <p>2 不登校対策について</p>	<p style="text-align: center;">15番 菊地 忍</p> <p>(1)本市におけるひきこもりの実態を把握すべき。 (2)愛知県豊明市では、市役所内に相談窓口の設置、情報発信、居場所支援、サポーター派遣などを行っている。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (3)兵庫県伊丹市では「伊丹モデル」と呼ばれる就労に向けた支援を行っている。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)コロナ禍における不登校の実態は。 (2)オンライン授業を推進すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長 市 長 市 長 教育長 教育長</p>	